

社 是

技術を大切に
人を大切に
地球を大切に

経営理念

世の中が必要とするもの、世の中に価値があると認められるものを生み出すことで、
社会に貢献し、企業としての価値を高め、
長期的な発展と、すべてのステークホルダーの満足をめざす。

田熊汽罐創業の精神である《汽罐報国》※を今日の言葉に置き換えますと、自らが生み出す財・サービスによって世の中に貢献するということになります。これは現在企業経営の重要課題となっておりますCSR（企業の社会的責任）にも通じる理念ともいえます。タクマならびにタクマグループの経営理念は、この創業の精神にあります。

※汽罐報国：当社の創業者であり、明治・大正期の日本十大発明家でもあった田熊常吉が掲げた当社（当時は田熊汽罐製造株式会社）の社是で、「汽罐＝ボイラ」の製造・販売・サービス等の企業活動を通して「報国」すなわち社会に貢献することを意味します。

タクマグループ
会社倫理憲章

当社およびタクマグループ会社が企業活動を行っていく上で、すべての役員および社員が、当社およびグループ会社を取り巻く環境と社会的責任を自覚し、関係法令やルールを遵守し社会倫理に即した行動をとることが、当社およびグループ会社の健全な発展に不可欠です。この認識のもと、経営理念の実現を目指す行動規範として本倫理憲章を定め実践します。

1. 「良き企業市民」として、地球環境との共存を図るとともに、積極的な社会貢献に努めます。
2. 法令を遵守し、公正、透明、自由な競争を心がけ、適法な事業活動を行うとともに、健全な商慣習に則り、誠実に行動します。
3. 市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力および団体とは、一切関係を持ちません。
4. 基本的人権を尊重し、差別行為はいたしません。
5. 優れた技術に基づいた高品質な製品、サービスの提供に努め、お客様から高い評価と信頼を獲得します。
6. インベスター・リレーションズ(IR)その他の活動を通じて、株主・投資家への適時かつ公平な企業情報の開示に努めます。
7. 会社の財産・情報の保護に努め、業務以外の不正または不当な目的に使用するような行為はしません。

編集方針

CSR報告書2021は、トップメッセージから事業戦略等の成長戦略に加え、ESGへの取り組みなどの非財務情報を総合的に整理することで、当社の一貫したESG経営への姿勢をステークホルダーの皆さまへお伝えすることを目的としています。特に今回の報告書では、当社の持続的成長への取り組みを示すため、価値創造プロセスや経営戦略である長期ビジョン「Vision 2030」、タクマグループの重要課題（マテリアリティ）等の説明をしています。本報告書をコミュニケーションツールとして活用することで、ステークホルダーの皆さまとの対話を深め、さらなるCSR活動の改善、企業価値の向上を実践していきます。

発行者：株式会社タクマ コンプライアンス・CSR推進本部 CSR部
対象期間：原則として2020年4月1日から2021年3月31日までです。一部2021年度の活動内容も含んでいます。
対象範囲：原則として株式会社タクマおよび関係会社を対象としています。 発行時期：2021年7月発行（英語版2021年9月発行予定）

+タクマ

TOP MESSAGE	05
At a Glance	09
TAKUMAの技術	11
TAKUMAの貢献	13
TAKUMAの軌跡	15
TAKUMA’S WORK	17
特集01 タクマビル新館（研修センター）	19

Section 01
成長戦略

価値創造プロセス	25
長期ビジョン「Vision 2030」	29
ESG経営の推進	31
タクマグループの重要課題（マテリアリティ）	32
中期経営計画	35
事業戦略	41
納入実績	51
特集02 光が丘清掃工場	53

Section 02
ESGへの
取り組み

気候変動対策への貢献 資源・環境保全	59
お客様・地域との信頼関係の一層の強化	65
パートナーシップとイノベーションの推進	67
人材の活躍促進	69
安全と健康の確保	71
コーポレート・ガバナンスの強化	73
役員紹介／社外取締役メッセージ	

Section 03
企業情報

財務データ	85
株式情報	87
会社概要	89